

市の現状と前期基本計画概要について

1 総合計画とは何か



(1) 総合計画とは

- ①市の全体計画です
市が目指すべきまちづくりの方向性を示した「設計図」です。
- ②10年間の計画です
現在は平成23～32年度の10年間の計画です。
- ③市民のみなさんに関係します
福祉、教育、基盤整備など様々な分野に関する取組みを定めています。
- ④3層構造になっています
総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画で構成されています。

(2) 計画の構成と期間

- ①基本構想 将来都市像や分野別の目標などを定めた10年間の計画
- ②基本計画 基本構想を実現するため、具体的な取組みを体系的に定めた5年間または4年間の計画
- ③実施計画 基本計画で定めた取組みを、財政状況などを踏まえて実施するための3年間の計画（毎年見直します）

《計画の構成と期間》

H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
第5次基本構想（10年間）									
基本計画（前期5か年）									
			基本計画（中期5か年）						
						基本計画（後期4か年）			
実施計画（3か年）									
	実施計画（3か年）					毎年見直し			
		実施計画（3か年）							

2 これまでの基本構想

昭和47年に市になって以来、5度にわたって基本構想を定め、計画的にまちづくりを推進してきました。基本構想の歩みは、まさに「富士見市の歩み」です。

＜将来都市像の変遷＞

＜主な取組み内容＞

◎第1次基本構想

『明るい豊かな生活、文化的な機能を持った住宅都市の建設』

人口の急増に対応するため、区画整理などの基盤整備のほか、学校や保育所などの教育・福祉施設の整備を重点的に進めました。

◎第2次基本構想

『住宅と産業の調和した緑あふれる文化都市』

産業面を強化するため、工業団地の造成や駅周辺の商業振興のほか、都市としての主要機能の整備を進めました。

◎第3次基本構想

『ふれあいと生きがいのある生活都市』

人口増加もゆるやかになり、図書館や水子貝塚公園の整備など、市民生活にうるおいをもたらすまちづくりを進めました。

◎第4次基本構想

『一人と自然ー ふれあいと思いやりあふれる生活環境都市』

学校の耐震化や保育所などの子育て支援施設の整備など、社会情勢の変化に対応したまちづくりを進めました。

昭和47年～昭和56年	小学校3校・中学校3校開校 保育所5か所開所 富士見養護学校開校、みずほ学園開園 健康増進センター開所 老人福祉センター開所 みずほ台駅開設
昭和57年～平成2年	針ヶ谷小学校、水谷中学校開校 コミュニティセンター2館開館 市民総合体育館開館 市民プールオープン 富士見養護学校の教育ゾーンへの移転新築 竹ノ内工業団地の整備
平成3年～平成12年	ふじみ野小学校開校 中央図書館開館 市内循環バス運行開始 ふじみ野駅開設 水子貝塚公園・難波田城公園開園 土地区画整理事業の推進（ふじみ野駅周辺など）
平成13年～平成22年	市民文化会館キラリ☆ふじみ開館 つるせ台小学校統合新設 ふじみ野保育園開所 文化の杜公園開園 びん沼自然公園開園 ふじみ野交流センター・鶴瀬西交流センター開館

3 現在の総合計画（第5次基本構想）をつくるにあたって

(1) 市民参画による計画づくり

平成16年に制定した自治基本条例に基づき、市民の皆さまとともに考え、ともに作りあげる計画を目指しました。

《市民の方による検討組織》

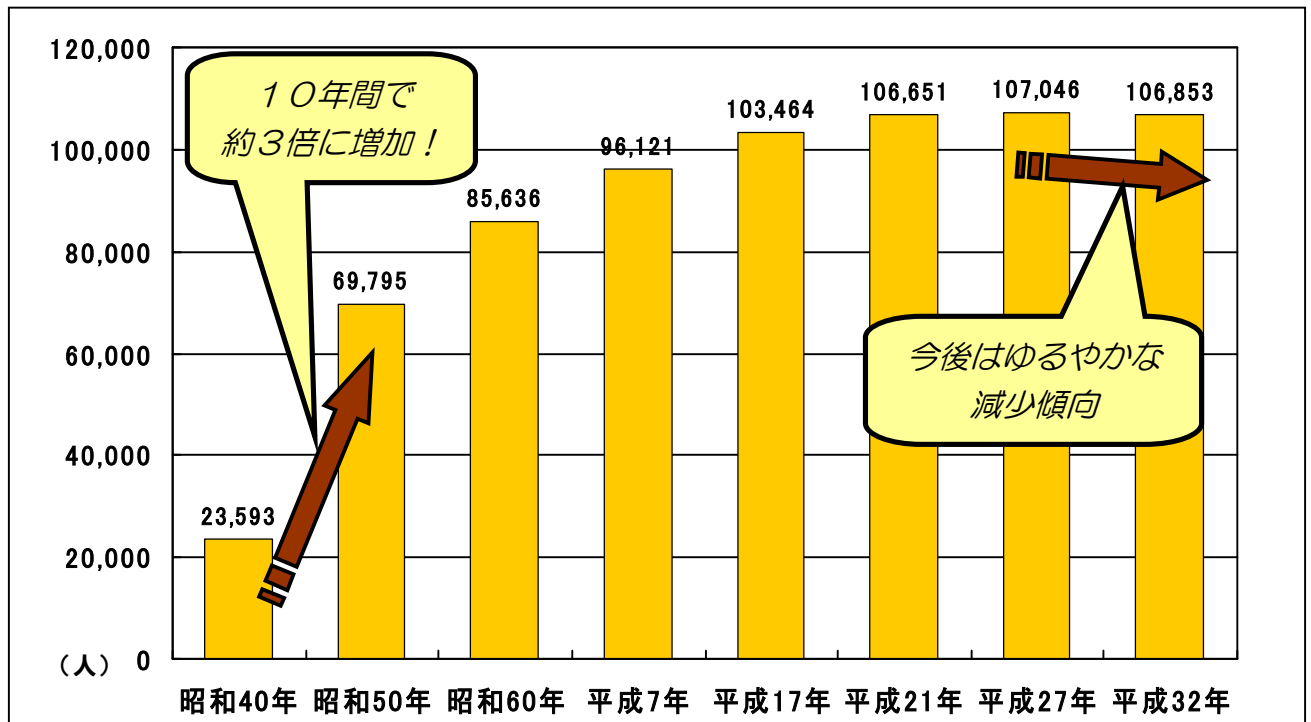
基本構想審議会	有識者など市民12人により審議（14回開催）
基本構想策定ふじみ市民会議	公募を含む市民40人による検討（29回開催）

《市民の方のご意見を伺う機会》

21年7月	市民意識調査	市民3,000人を対象に実施
22年2月	地域別懇談会	7会場にて開催（214人参加）
22年5月	分野別懇談会	3分野について開催（105人参加）
22年5月	中学生未来会議	市内の中学生16人参加のもと開催
22年9月	地域説明会	7会場にて開催（236人参加）
22年9月	市民意見の募集	総合計画（案）を公表し、広く意見を求めました（33件の意見）

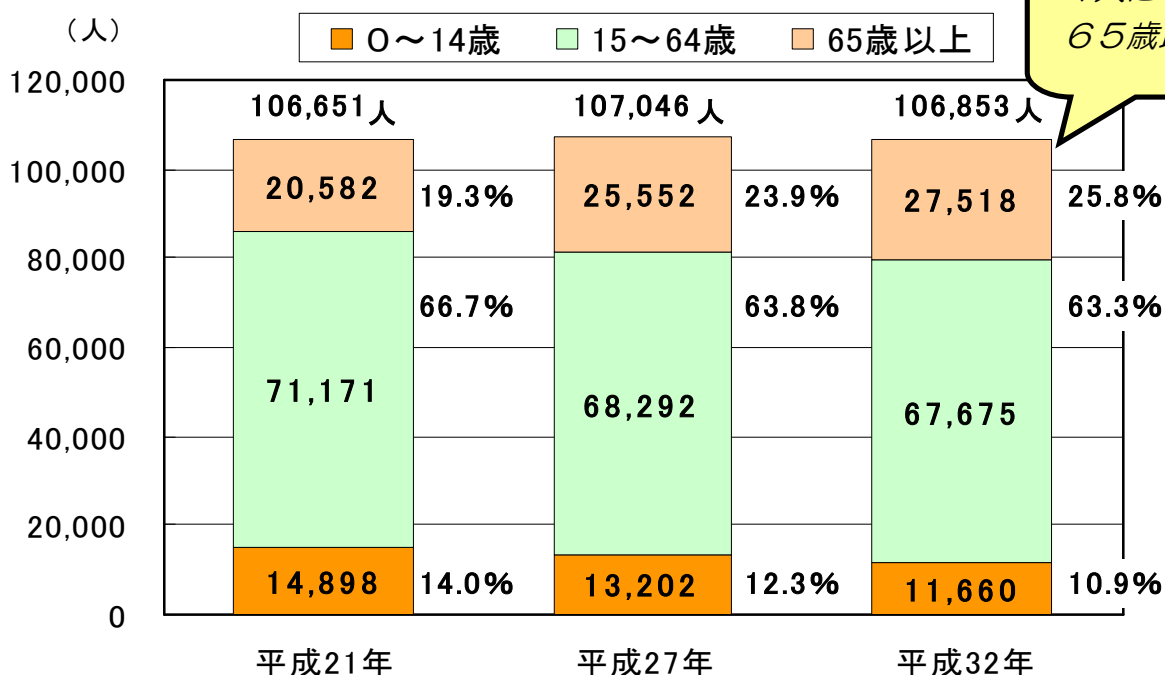
(2) 人口推計

①これまでと今後の人口（外国人含む）



※参考 現在の人口は107,878人（平成24年12月末。外国人含む）

②年齢区分別推計



4 第5次基本構想に基づく取組み

(1) 富士見市が目指す将来のまちの姿 (将来都市像)

ひととまちがキラリとかがやく
市民文化交流都市
～人と人との絆と和 地域が主役のまちづくり～

市民（ひと）がまちづくりの主体となり、市民同士や市民と行政がお互いに連携し、支え合うことで、活気や笑顔にあふれ（キラリとかがやく）、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めていこうという思いを込めました。

また、人と人とのふれあいの輪（和）を広げることで地域の和を深め、地域が主役となって身近な課題などに取り組み、『住み続けたい、住んでみたいまち』を創っていくことを目指すものです。

なお、「キラリ」は、本市の地域資源を活かすことによるまちの個性の輝き、河川（荒川・柳瀬川・新河岸川）の水面の輝き、市民文化会館キラリふじみを表しています。（要約）

(2) 分野ごとの主な取組み

将来都市像の実現に向け、6つの分野ごとに様々な取組みを進めています。

①子育て支援・子どもの教育などに関する分野

○こども医療費の無料化（中学校3年生まで）【継続】

小中学生の医療機関での一時払いを不要にします（平成24年10月から実施予定）。



○民間保育園の整備支援【平成24年度】

水子地区に新設予定の民間保育園（90名定員）に対する助成を行います。

※保育所待機児童：3名（平成24年4月現在）

※放課後児童クラブ待機児童：0名（平成24年4月現在）

○小中学校の教室にエアコン設置【平成24～25年度】

平成25年度に設置します（平成24年度は設計）。



○学校施設の整備【平成24年度】

- ・トイレ改修工事（勝瀬小、本郷中）、改修工事設計（水谷東小、勝瀬中）
- ・体育館改修工事設計（富士見台中）
- ・プール改修工事（本郷中）
- ・大規模改修工事（針ヶ谷小）、改修工事設計（特別支援学校）

○すこやか支援員の増員【平成24年度】

学校において個別の支援を必要とする子どもたちの生活上の介助や学習支援を行うすこやか支援員を増やします（平成23年度26人⇒平成24年度35人）。

○発達支援のための巡回事業の拡充【平成24年度】

発達障がい児等への支援を充実するため、幼稚園などへの発達支援巡回事業を拡充します（平成23年度18回⇒平成24年度33回）。

○「子ども大学ふじみ」の開校【平成24年度】

近隣の大学等と連携し、小学生の知的好奇心に応える学びの機会を提供します。

○小中学校の耐震補強【完了】

小中学校の校舎・体育館の耐震補強は、平成22年度までに全て完了しました。

②健康づくり・医療・福祉などに関する分野

○食育推進計画の作成【継続】

食育に関する取組みを計画的に進めます。

○各種ワクチン接種への助成【継続】

- ・高齢者肺炎球菌ワクチン（70歳以上）
- ・小児用肺炎球菌ワクチン（5歳まで）
- ・ヒブワクチン（5歳まで）
- ・子宮頸がんワクチン（中学1年～高校1年の女子）
（高齢者肺炎球菌ワクチンは3千円の助成、それ以外は全額助成）



○胃がんリスク検査「ABCD検診」の実施【平成24年度】

胃がんの危険度を血液検査で判定します。

○健康増進センターの耐震補強工事【平成24年度】

耐震補強工事と体育館の床面改修などを行います。

○災害時要援護者支援事業【継続】

高齢者や障がい者など災害時に援護が必要な方の情報を整理し、避難支援体制を整備します。

○地域包括支援センターの整備【平成27年度までに】

身近な地域ごとに、介護などに関する相談などを行う地域包括支援センターを設置します（現在4圏域のうち2圏域に設置→各圏域に設置）。

○高齢者向けの施設の整備【継続】

小規模多機能型居宅介護やグループホームなどの施設を整備します（平成25年10月整備予定）。

○精神障がい者のための事業所に対する助成【継続】

精神障がい者の就労訓練や居場所づくりなどを行う事業所に対する助成を行います。

③生涯学習・文化などに関する分野

○公民館の改修【平成24年度】

- ・鶴瀬公民館の耐震補強工事

- ・水谷公民館のエレベータ設置工事
- ・南畑・水谷東公民館耐震補強工事設計



○中央図書館の改修【平成 24 年度】

図書館の開架スペースの空調設備を改修します。

○文化芸術振興基本計画の作成【平成 24～25 年度】

文化芸術の振興に関する条例と計画を作ります（条例は平成 24 年 6 月制定済み。県内自治体（政令指定都市除く）では初）。

○体育施設の改修【平成 24 年度】

- ・市民総合体育館の空調設備・ボイラー改修工事
- ・ガーデンビーチのプールエリア床面改修工事

○水子貝塚公園・難波田城公園の整備【平成 24 年度】

- ・水子貝塚公園 テーブル・ベンチ修繕など
- ・難波田城公園 旧大澤家住宅の茅葺き屋根の修繕など

④農業・商工業・地域活性化などに関する分野

○プレミアム商品券の発行【平成 24 年度】

市制施行 40 周年を記念し、市内商店で利用できる商品券（1 万円で 1 万 1 千円分の商品券）を発行します。



○産業の活性化【継続】

農業・商業・工業の連携による「ふじみマーケット」など商工会が行うふじみ産業元気づくり事業に対する助成を行います。

○住宅改修工事に対する助成【継続】

市内業者による住宅リフォーム工事に対する助成を行います（助成上限額：10 万円）。

○市役所前の大型商業施設開発に向けた取組み支援【継続】

平成 27 年度オープン予定。

⑤防災・防犯・まちづくり・環境などに関する分野

○地域防災計画の見直し【平成 24 年度】

東日本大震災の発生を教訓に、地域防災計画を見直します。

○自主防災組織の結成や活動に対する助成【継続】

自主防災組織の新規結成や既存組織の活動に対して助成を行います（助成上限額：組織結成 10 万円、活動費 5 万円）。



○住宅の耐震診断、耐震改修工事に対する助成【継続】

昭和 56 年 5 月 31 日以前に建築された住宅の耐震診断・耐震改修工事を対象に助成します（助成上限額：耐震診断 5 万円、耐震改修 20 万円）

○鶴瀬駅東通線の開通と駅前広場の開設【平成 24 年度】

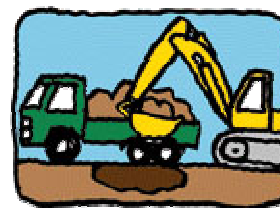
鶴瀬駅東口駅前広場と、駅から市役所方面へつながる鶴瀬駅東通線が平成 24 年 4 月に開通しました。

※鶴瀬駅東口土地区画整理事業の使用収益率（平成 23 年度末）12.6%

○鶴瀬駅西口土地区画整理事業の推進【継続】

鶴瀬駅西口の駅周辺の整備を進めます。

※使用収益率（平成 23 年度末）80.1%



○太陽光発電システム設置に対する助成制度【継続】

新規の設置に対して 1 件あたり 5 万円を助成します。

○放射線等対策の実施【継続】

- ・ 公共施設の空間放射線の測定と放射線量の低減作業を行います。
- ・ 公・私立保育所とみずほ学園の給食の放射性物質検査を行います。
- ・ 学校給食の放射性物質検査を行います。

○公園整備事業

- ・ 旧上沢小学校跡地の公園整備を進めます。【平成 24～25 年度】
- ・ 南むさしの公園（ふじみ野西 2 丁目）を整備します。【平成 25～27 年度】
- ・ 市民緑地「西渡戸」の用地を取得します。【平成 24 年度】

○水子・諏訪地区整備事業【継続】

市街化区域再編入に伴い、基盤整備を進めます。

○道路橋長寿命化修繕計画の作成【継続】

市内の主な道路橋 37 か所を点検し、修繕計画を作成します。

○道路の整備【継続】

- ・市道 5116 号線（山王坂交差点）の上り車線を拡幅します。
- ・市道 904 号線（つるせ台小～旧上沢小）を整備します。 など

⑥市民自治・協働・行革などに関する分野

○市制施行 40 周年を記念した各事業の実施【平成 24 年度】

- ・富士見市マスコットキャラクター（ふわっぴー）の制定
- ・富士見市の鳥の制定（かわせみ）
- ・40周年記念市民便利帳の作成（全戸配布）
- ・市民コンサートの開催
- ・桜のオーナー制度による桜の植栽
- ・古民家結婚式
- ・出会い交流事業（婚活）
- ・市役所庁舎中庭のボランティアによる改修 など



○映画・ドラマ等の撮影支援【継続】

映画やドラマ等の撮影に市内公共施設等を提供し、市をPRします（平成 23 年度 22 件撮影）

○市役所の休日開庁【継続】

市民課や保険年金課など、一部の窓口を毎月 1 回土曜日
に開庁しています。



○ふじみ野出張所の見直し【継続】

ふじみ野駅構内にあるふじみ野出張所の移転を含めた公共施設の整備を進め
ます。

○市税のコンビニエンスストアでの納付【平成 24 年度】

コンビニエンスストアで納税できるようにしました。

○市役所庁舎の非常用発電設備更新工事【平成 24 年度】

停電時でも窓口業務を継続できるよう、非常用発電装置を新しくします。

○健全な財政運営に関する条例の制定【継続】

平成 23 年度に制定した同条例に基づき、健全で透明性の高い財政運営を進め

ます（全国で3番目の条例制定）。

○行財政改革の推進【平成24年度】

- ・ 市長等交際費の削減
平成23年度 2,216千円 → 平成24年度 1,765千円（▲45万1千円）
- ・ 定員適正化計画の推進
一般会計職員の給与費 49億4,490万7千円（前年度比▲9,955万5千円）
職員数：平成23年度 572人 → 平成24年度 567人（▲5人）
- ・ 普通財産の売却
旧上沢小学校跡地売却(32区画のうち19区画) 4億4,237万4千円
鶴馬1丁目市有地売却(3区画売却済み) 5,328万円
- ・ 広告収入の確保
市封筒広告料収入 72万円
総合的窓口モニター広告掲載料 96万円
市ホームページバナー広告掲載料 168万円

※行財政改革については、行財政改革大綱に基づき、上記を含め46項目の取組みを推進しています。

5 平成24年度の予算の状況

◇予算総額

平成24年度の一般会計の予算額 **287億7,387万8千円**

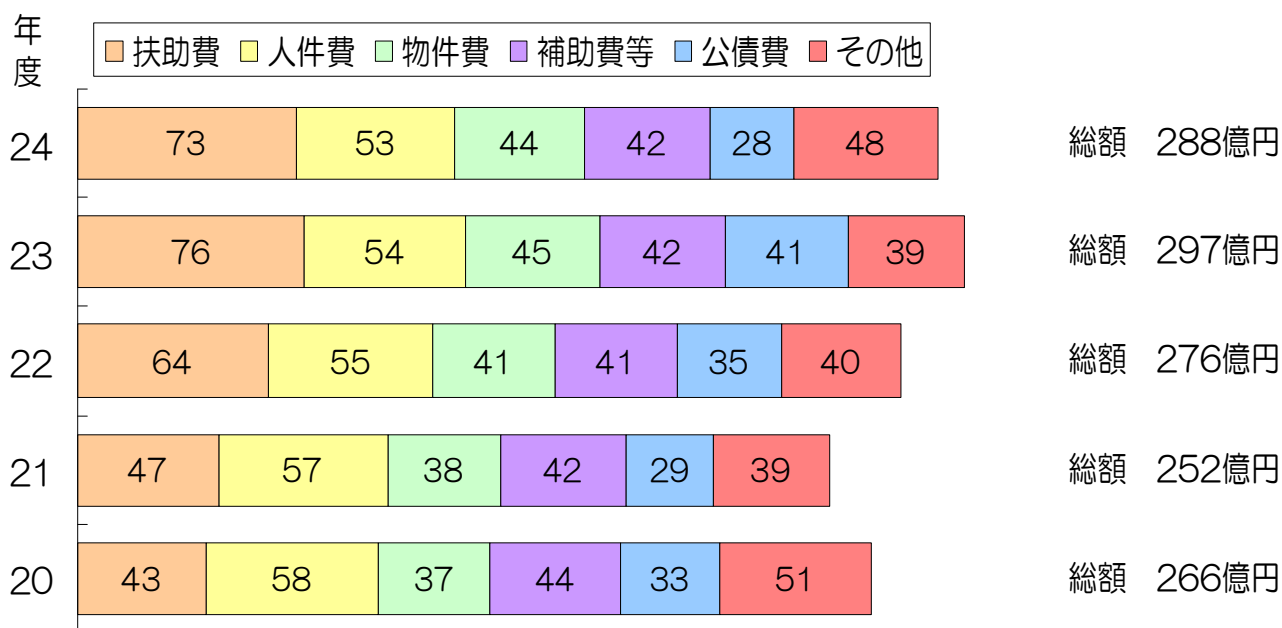
◇支出の状況（性質別の分類）

性質別の分類	・ 扶助費・・・福祉、医療、給付金など
	・ 人件費・・・職員給与、議員報酬など
	・ 物件費・・・光熱水費、消耗品など
	・ 補助費等・・・市が交付する補助金など
	・ 公債費・・・借入金の返済金
	・ その他・・・建設事業費、繰出金など

支出を性質別に見た場合、1番金額が多いのは**扶助費**で72億5,968万7千円（全体の25.2%）となり、前年度に比べ3億550万4千円の減となっています。

2番目に多いのは**人件費**で52億6,885万5千円（全体の18.3%）となり、前年度に比べ1億2,099万1千円の減となっています。

3番目に多いのは**物件費**で44億2,374万9千円（全体の15.4%）となり、前年度に比べ3,884万5千円の減となっています。



支出を家計にたとえると……

平成24年度の 予算では……		家計では……	年間	割合 (%)
義務的経費	人件費	食費	92万円	18.3
	公債費	借金(ローン)の返済	48万円	9.7
	扶助費	医療費	126万円	25.2
投資	普通建設事業費等	自宅の増改築費	31万円	6.1
その他の経費	物件費	光熱水費、電話代	77万円	15.4
	繰出金	子どもへの仕送り	49万円	9.8
	補助費等・投資及び出資金・貸付金など	町会費、サークル活動の会費など	75万円	15.1
	積立金・予備費	貯金	2万円	0.4
		家計の支出合計	500万円	100.0

では、収入は？

平成24年度の 予算では……		家計では……	年間	割合 (%)
自主財源	市税・使用料・財産収入など	給料	260万円	52.0
	基金からの繰入金	貯金の取り崩し	14万円	2.8
依存財源	国県支出金・地方交付税・地方消費税など	親などからの援助	188万円	37.6
	市債	借金(ローン)	38万円	7.6
		家計の収入合計	500万円	100.0

◇収入の状況

市税は132億324万2千円となり、前年度と比べ1億7,517万3千円の減となっています。

主な要因として、個人市民税は、年少扶養控除等の廃止により約1億7千万円の増収が見込まれるものの、景気の低迷などの影響により全体では減となっています。

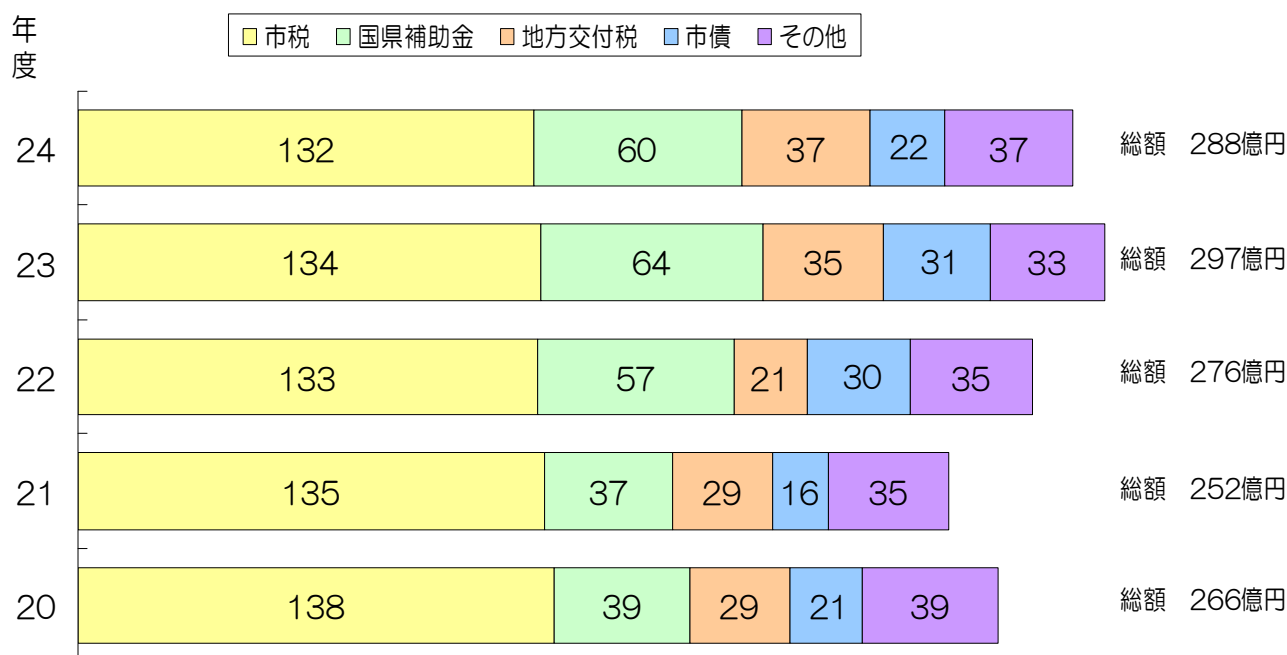
固定資産税は、土地では水子地区等の市街化区域への再編入に伴う増収が見込まれるものの、家屋では評価替えの影響などにより減となっており、全体では減となっています。

たばこ税は、販売本数の減少が見込まれるものの、税率改正の影響により、全体では増となっています。

国・県支出金は59億9,069万2千円となり、子どものための手当負担金の減などにより、前年度に比べ4億5,334万7千円の減となっています。

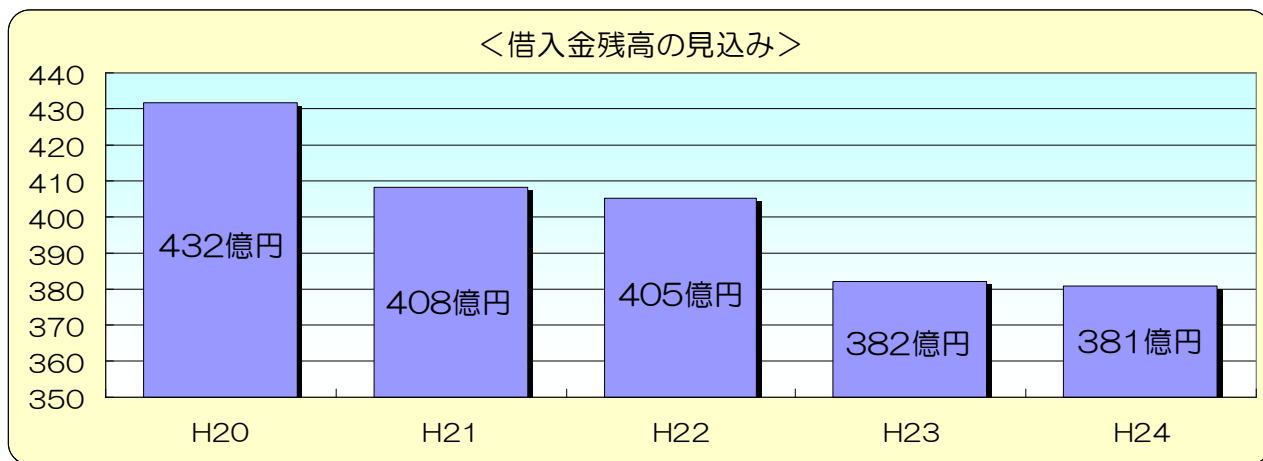
地方交付税は36億5千万円となり、地方財政計画や交付実績を参考に前年度に比べ2億円の増となっています。

市債（借入金）は21億9,770万円となり、借換債約12億円の減などにより、前年度に比べ8億6,696万1千円の減となっています。



◇借入金（市債）の状況、見込額

学校、道路、下水道などの公共施設を整備する場合などに借り入れをしています。近年は、臨時財政対策債（国から地方自治体に配分する地方交付税が不足するため、地方自治体が借金して工面するものです。）が増えています。

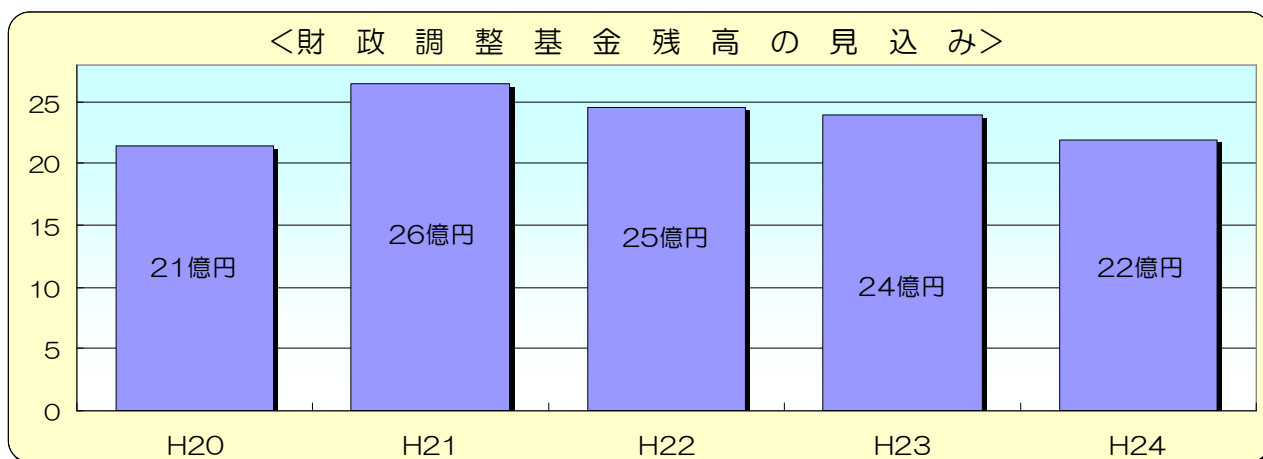


※すべての会計の借入金の残高に、債務負担行為額（将来の債務予定額）を加えています。

※平成 24 年度の残高は見込みです。

◇預金の状況、見込額

災害などの不測の事態や、多額の支出を伴う事業を行う場合に備え、預金（財政調整基金）を積み立てています。



※平成 24 年度の残高は見込みです。